

## 第6章 進捗管理

### 6-1 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、各関係機関が計画理念・目標等を共有し、相互に連携・協働して施策を進めることが重要です。そのためには、それぞれの役割分担を明確にして、主体的に行動していくことが期待されます。

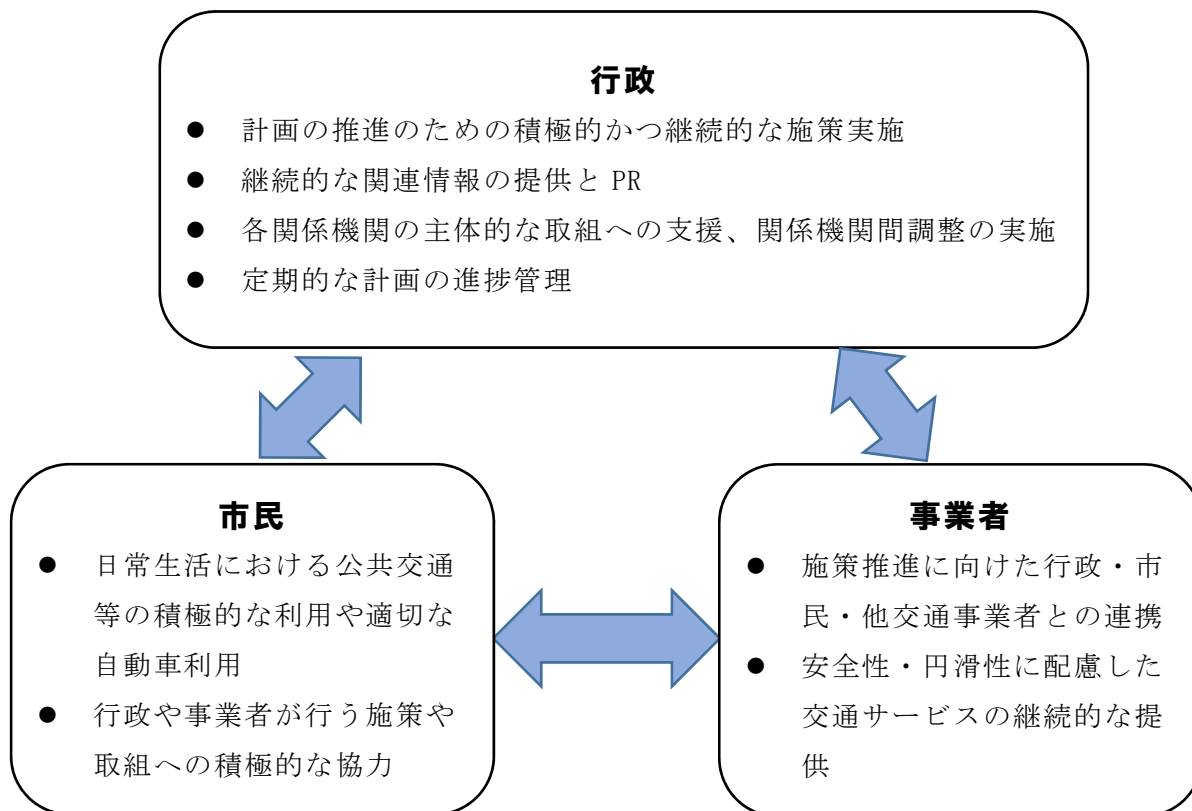


図 各関係機関別の役割分担イメージ

## 6-2 点検・評価

計画の推進にあたっては、各年度において計画に基づく施策の実施状況を把握・点検し、その結果をその後の対策の実施や計画の見直し等に反映させていくことが必要です。

本計画では、関連各課による施策・事業に関する事業評価を行うとともに、P D C A サイクルによる効率的な行政運営を目指していきます。

### (1) 評価指標

計画に基づく施策の実施状況を把握・点検するための評価指標を下表の通り設定します。

**表 計画点検・評価のための評価指標(1/2) (精査中)**

目標	評価指標	現況値	目標値(2040)
①産業振興・中心市街地活性化等に資する交通環境の実現	都市計画道路(幹線街路)の整備率	74.0%	
	市内の移動所要時間		
	まちなかの歩行者通行量		
	中心拠点のトリップ量	43 (千トリップ/日)	47 (千トリップ/日)
	中心市街地への通過交通の流入台数		71 (千台/日)
	国道50号の混雑度	1.2	1.0
	主要幹線道路における通過交通の走行台キロ割合		56%
②定住人口と交流人口の増加に向け、子育て世代や交通弱者、来訪者等がより移動しやすい環境の実現	市民の交通環境に係る満足度		
	来訪者・観光客の交通環境に係る満足度		
	外出率(特に子育て世代、高齢者)	子育て世代： 高齢者：58%	子育て世代： 高齢者：
	市内の移動所要時間【再掲】		
	市民一人あたりの移動経費		
	国道50号の混雑度【再掲】	1.2	1.0
	公共交通利用者数	26.9 (千トリップ/日)	22.5 (千トリップ/日)
利便性の高いバス人口カバー率	25%	65%	

表 計画点検・評価のための評価指標(2/2) (精査中)

目標	評価指標	現況値	目標値(2040)
③ 高齢者の方々がイキイキと活動するための外出環境の実現	外出率(高齢者)	58%	
	市民の交通環境に係る満足度(高齢者)		
	利便性の高いバス人口カバー率【再掲】	25%	65%
	高齢者のトリップ数	69 (千トリップ/日)	87 (千トリップ/日)
④ 技術革新を見据え、多様な交通手段を選べる環境の実現	自動車以外の交通分担率	31.0%	
	公共交通利用者数【再掲】	26.9 (千トリップ/日)	22.5 (千トリップ/日)
	高齢者のトリップ数【再掲】	69 (千トリップ/日)	87 (千トリップ/日)
⑤ 環境や経営にやさしい持続可能な交通環境の実現	自動車におけるCO2排出量		
	おーバス収支率		
	国道50号の混雑度【再掲】	1.2	1.0
	公共交通利用者数【再掲】	26.9 (千トリップ/日)	22.5 (千トリップ/日)
	主要幹線道路における通過交通の走行台キロ割合【再掲】		56%

## (2) 点検・評価の管理

計画の運用にあたっては、PDCAサイクルの考え方に基づき、概ね5～10年毎に点検・評価を行い、その達成状況や社会情勢の変化、上位関連計画との整合を確認しながら、必要に応じて計画や施策の見直しを行うことで、効率的かつ適切なモニタリングを実施します。

